

令和 5 年度

事業者番号	0267	事業所番号	026701
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	東京都水道局朝霞浄水場		
事業所所在地	市区町村	朝霞市	
	字・地番	宮戸一丁目3番1号	
産業分類名(中分類)	36 水道業		
分類番号(中分類)	36		
事業活動の概要	事業内容	主な製品 浄水 従業員 112名	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。 R4年度申請のトップレベル認定後においては、排出基準量に対し、平均削減率を10%以上とする。 (必要に応じて、排出量取引を活用する。)				
	その他ガス					
削減目標の概要	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	408,409	t-CO <sub>2</sub>		
		削減目標量(計画期間合計)	66,486	t-CO <sub>2</sub>	事業所区分	第2区分

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)					
	その他ガス					

## 3-1 事業所の温室効果ガス排出量

## (1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	41,902	40,872	43,390		

## (2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO <sub>2</sub>	81,603	79,397	84,181		
前 年 度 比 ( % )	—	-2.7	6.0		
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
	三 ぶ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	81,603	79,397	84,181		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO<sub>2</sub>）CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位	0.1583	0.1579	0.1599		
前 年 度 比 ( % )	—	-0.3	1.3		
活 動 規 模 の 指 標 単 位					
原連+送配水+三園導水	千m <sup>3</sup>	515,557.10	502,938.80	526,438.00	

(4) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	平成31（令和元年）年度と令和2年度を比較し、原水連絡流量及び送配水流量が減量したことで排出量も減少した。
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	令和2年度と令和3年度を比較し、送配水流量及び三園導水流量が減量したことで排出量も減少した。
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	令和3年度と令和4年度を比較し、送配水流量が増加したことで排出量も増加した。
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減		
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減		

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	94,979	t-CO <sub>2</sub> /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO<sub>2</sub>)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	94,979	94,979	94,979	94,979	94,979	474,895	
	目標削減率の 緩和措置							
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	10.00%	10.00%	10.00%		
	排出上限量 (C = Σ A-D)							408,409
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))							66,486
実 績	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(E)	81,603	79,397	84,181			245,181	
	削減率 (F = (A - E) / A)	14.08%	16.41%	11.37%			—	
	排出削減量 (G = A - E)	13,376	15,582	10,798			39,756	
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済				

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分				
1	360700		36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	原水連絡ポンプ速度制御方式の変更		R1以前	3,059.0
2	360700		36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	導水ポンプ速度制御方式の変更		R1以前	2,159.0
3	360700		36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	送配水ポンプ速度制御方式の変更		R1以前	2,121.0
4	380700		38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明設備のLED化		R1以前	41.0
5	380700		38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	本館、ポンプ室等照明設備のLED化		R3	50.0
6	380700		38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	本館、電気室等照明設備の間引き		R1以前	38.0
7	370700		37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	本館空調設備の更新		R4	12.8
8	330200		33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房温度の適正化		R1以前	
9	330200		33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ブラインドの活用		R1以前	
10	330200		33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備の定期的な保守及び点検の実施		R1以前	
11	410700		41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	事務用機器の待機電力の削減		R1以前	
12	310100		31_推進体制の整備	地球温暖化対策に関わる推進組織の整備		R1以前	
13	490100		49_排出量取引	必要に応じて排出量取引制度を活用		R7以降	
14							
15							

## 5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

